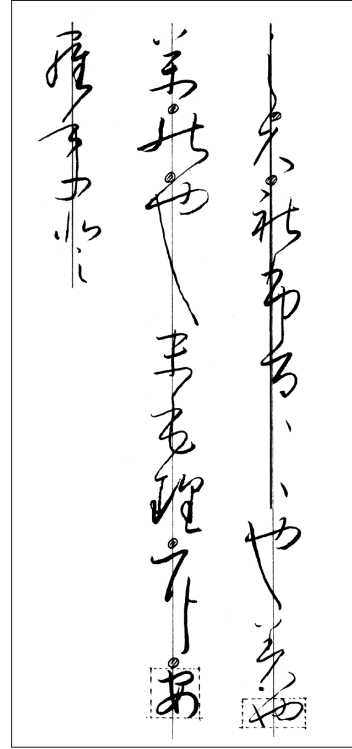


◆半紙三行たて書きに臨書して下さい。出品料420円

秋萩帖



1、字句「之久礼布留々也美也萬能也末毛理耳安羅年登」
 2、形式「半紙をたてに使用し、原帖通りに三行に臨書する。(一行目10文字・二行目8文字・三行目3文字) 落款は三行目に「○○臨」と本文よりやや小さ目に入れる。

3、概観「秋萩帖」の書き手と伝えられる小野道風には、漢字の作「屏風土代」があり、その書風は温雅で、中国の書とは違ういわゆる和様の趣があります。道風は、中国から伝来した文字を日本人や日本の風土に合うように、漢字・仮名の両面から研究しつづけていたように思われます。

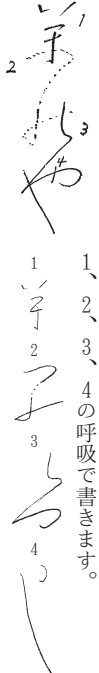
4、臨書のポイント
 (1)字形について
 ・最終画を意識して伸ばす文字(□)
 一行目 ちや 二行目 や
 一行目 終 二行目 終

(2)字間について
 ・連綿していても、してなくても文字と文字との間隔は同じ位にする。(●)
 ・おどり字「、」（くり返しの意）は、存在感があるように間隔をとって打つ。

(3)行について
 ・「之久礼布留々、」は、少し右へ流れるように書く。他は、行の中心に文字の中心がくるようにする。そのためには連綿線の方と長さに注意する。

(4)筆づかいについて

・特に連綿の呼吸は次の要領を参考に。

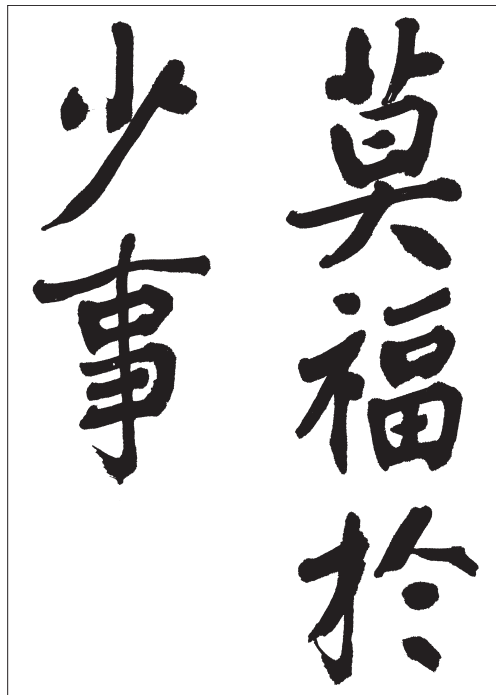


半 紙 予 告 (予告)

(十二月二十二日締切)

平岡華雪先生書

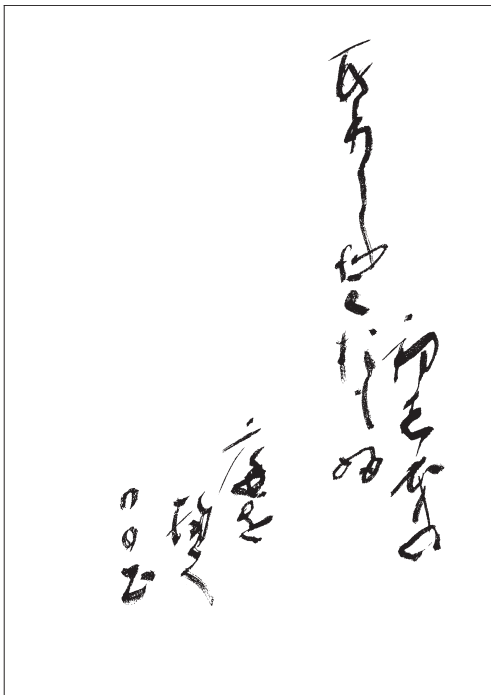
事少きより福なるは莫し (菜根譚)



訳：身近にこたごたが少ないのが一番の幸福である。

平岡華雪先生書

初霜のありしと思ふ庭を掃く (藤羽)



条幅臨書部課題

(十一月二十二日締切)

秋萩帖

之久礼布留、
 しぐれふるくやみやまのやまもり
 也美也萬能也末毛理耳安羅年登
 にあらねど
 之久礼布留、
 しぐれふるくやみやまのやまもり
 也美也萬能也末毛理耳安羅年登
 にあらねど

之久礼布留
 しぐれふるく
 也美也萬能也末毛理耳安羅年登
 にあらねど

(字詰め自由)

今回の字句21文字を半切二行に書いてみま
 しょう。「也」「耳」などの最終画を強い線
 で表現してみてください。
 条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。
 半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレ
 ンジしてください。また条幅だけ出品も大
 歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は左余白に「○○臨」と調和を工
 夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。

之久礼布留、
 しぐれふるくやみやまのやまもり
 也美也萬能也末毛理耳安羅年登
 にあらねど
 之久礼布留、
 しぐれふるくやみやまのやまもり
 也美也萬能也末毛理耳安羅年登
 にあらねど

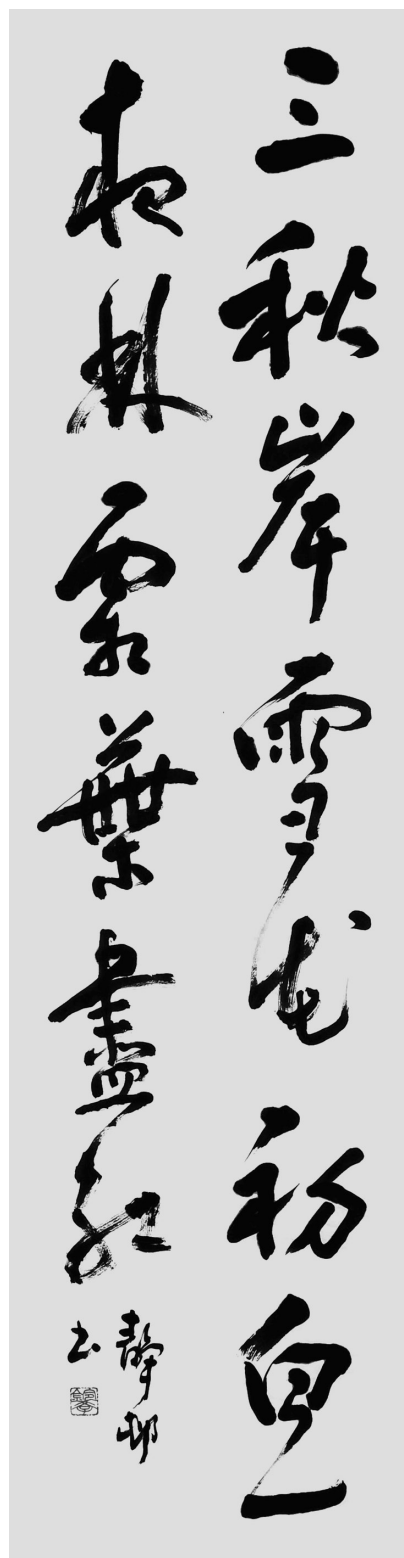
◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

条幅部漢字課題参考 (十一月二十二日締切)

A

鈴木静村書

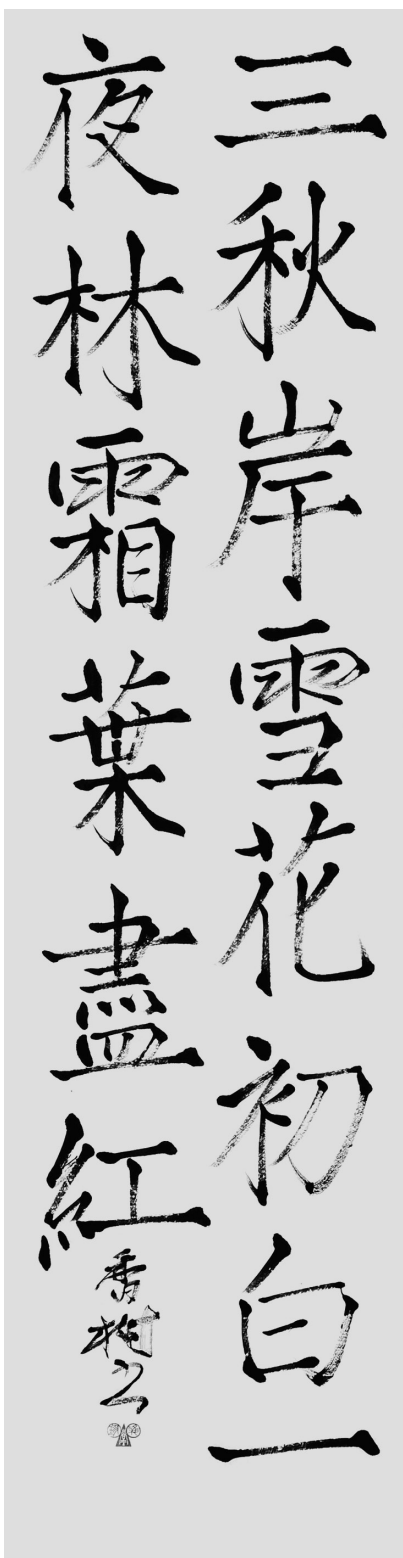
三秋岸雪花初白 一夜林霜葉盡紅 (温庭筠)
三秋の岸雪花初めて白く、一夜の林霜葉尽く紅なり。



B

高橋香樹主幹書

三三横画の長さの差、画間の差、さらには筆意の差。雪「花」への連綿線は硬く失敗。白から「一」への連綿は私のクセ、ただ末筆は軽く抜きたい。林 筆路を確かめてリズム的に。葉 字体多い。字典からよく参照のこと。盡 草書体が多いので、今月は行書としたい。落款 余白を活かし、独自性を表出して下さい。



今回は楷書としました。宋代の徽宗皇帝の瘦金体の仿書を試みました。字形は縦長を基本とし、横画・縦画の収筆に見られる書き振りは(新たに)画書くような、異様でもある。ハネは大きく、払いは横へ押し出すようにする。しかし、書かれたものは、しなやかさに欠け、徽宗の書とは程遠いものになりました。
訳：晩秋の岸辺の雪は花を白くつつみ、一夜のうちに林の霜は葉を紅に染めあげる。

予告 (十二月二十二日締切)

妙質不爲平世得 微言惟有故人知 (王安石)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

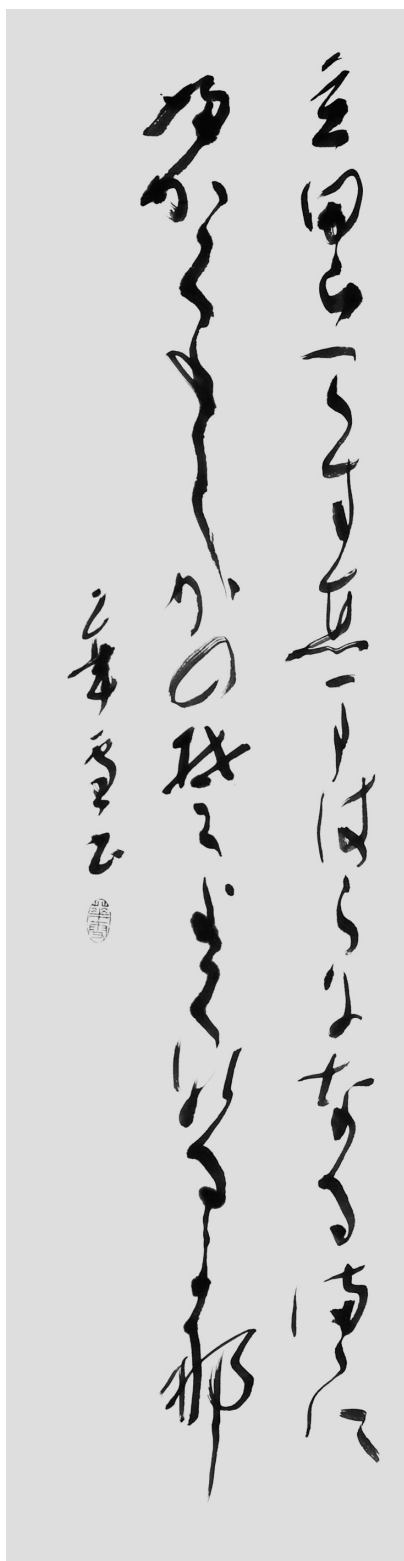
条幅部かな課題参考

(十一月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

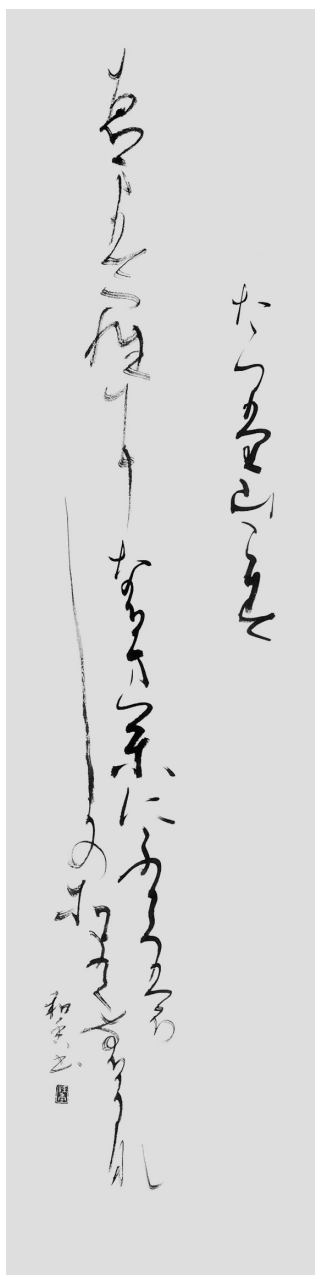
立田山こずゑまばらになるまゝに深くも鹿のそよぐなるかな(新古今和歌集)
立田山こずゑ万はらるなる満に婦か久もしかの楚よ久那る可那



B

小林和香先生書

たつ堂山こ春恵万盤羅耳なる万萬にふかく裳し可の所よく奈る可那



学び方

歌意：立田山の木々の梢がまばらになるにつれて、山の奥深くで鹿が落葉を踏んで音を立てているようだなあ。
今回は三行書きの構成にしてみました。特に余白に配慮してください。字粒はやや小ぶりにして紙面がうるさくならないように注意しましょう。潤筆部を意識して隣同士の行が助け合い、響き合うように、潤筆部のかたまりを作り作品の核を形成しましょう。潤筆部分は重たくならないように、筆の弾力を使い緩急をつけ、リズムカルに書きましょう。字幅、字間、連綿、疎密、潤濁、筆先の開閉などを駆使して、立体感のある作品作りを心掛けたいものです。

予告 (十二月二十二日締切)

もみぢ葉をなにお(を)しみけん木のまよりもりくる月は今宵こそみれ(新古今和歌集)

新古今和歌集

武士の世に朝廷主導で作られた歌集です。約二〇〇〇の歌が二〇巻にまとめられています。歌風の特徴は、言葉にしなくても伝わる感動の表現で、「本歌取り」(もともとある古い歌の主題や語句をとりいれて歌を作る)という方法が多くもちいられています。全体的に趣深く、繊細な雰囲気があります。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

条幅部 随意参考

野田麗夕先生書

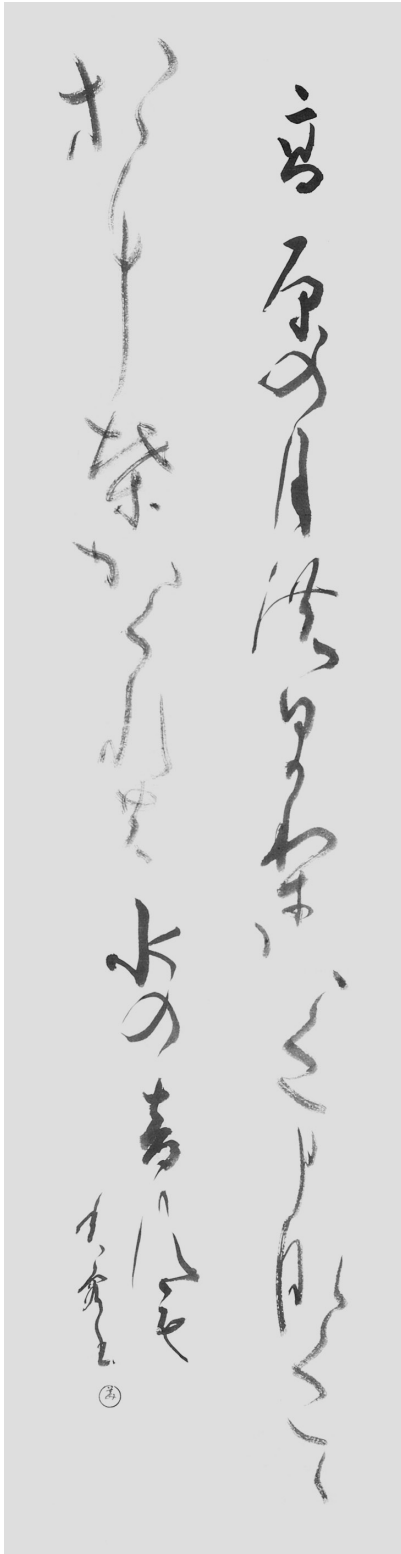
草閣共招溪上月 茶爐重和卷中詩（春旭）
 草閣共に招く溪上の月、茶炉重ねて和す巻中の詩。



訳：草ぶきの高閣に共に迎えるのは溪上の月である、茶煮る金に対して再び巻中の詩に和する。

川上香蓉先生書

高原の月のひかりは限なくて落葉がくれの水のおとすも（斎藤茂吉）
 高原の月濃日可梨八久万那久て於千葉か久れ農水の音須毛

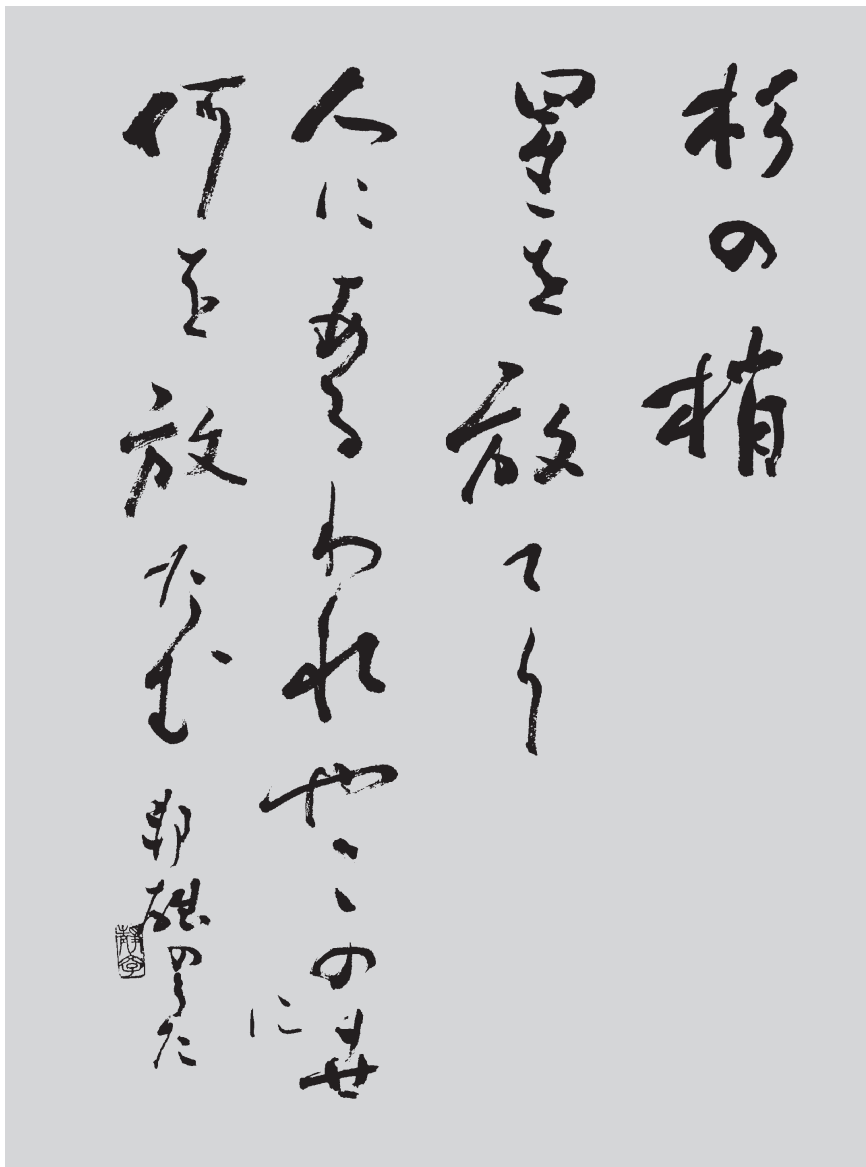


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

杉の梢 星を放てり人にある われやこの
世に何を放たむ

(塚本邦雄)



前衛短歌への開拓者。杉の梢を前面に下の句に自分を覗かせ、さらに深いふりかえりへ。
構成は行頭を揃えた四行書き、漢字を並立の文節。右下に余白大きく、三行目潤渇の躍動感を表出。

なお、「に」の寄せは私の好み、そのま「世」に次いで可。落款は下記に、

邦雄のうた
印

塚本邦雄
(つかもとくににお)
歌人、小説家。
滋賀県生まれ。
一九五〇年代以降、いわゆる前衛短歌の最先端をきりひらいた。歌集に「緑色研究・青き菊の主題」他。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

冬来って幽興長し(唐庚)
訳：冬になって物静かな興趣はつきない。

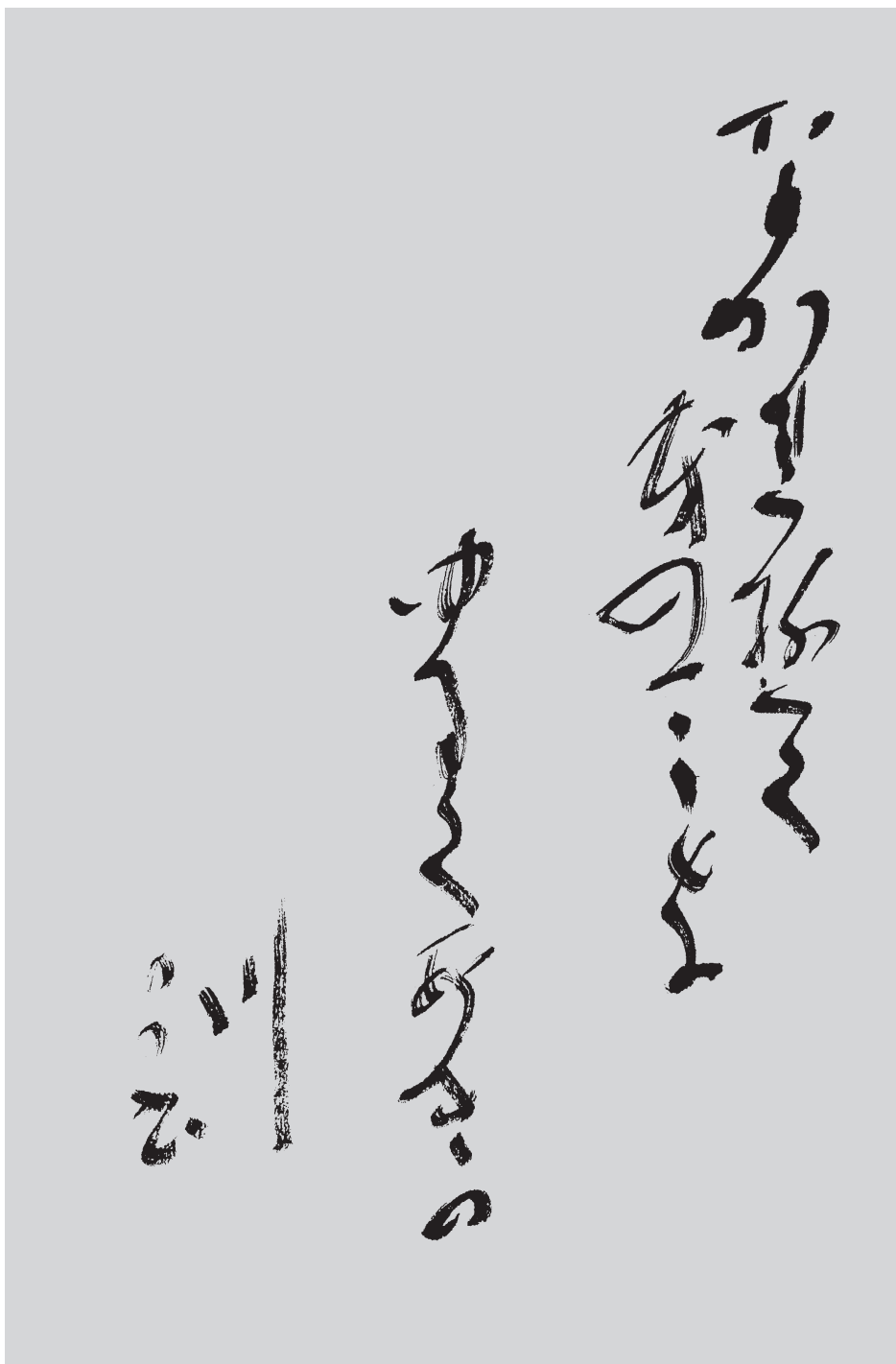
〈布置の工夫を〉
布置がむずかしい課題です。右払いが三つ、左払いが二つ。はみ出しや画のぶつかりもなく、のびのびと表出するには、布置の工夫をどうするかです。左の払いが暢びやかに表出できるよう工夫していただきたい。
参考 興興 (こちらの字でも可)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

流れゆくものみなゆるく秋の川（虚子）
なか連遊久茂の三奈ゆる久あきの川



（「意先」連綿のポイント）
初歩段階の人は、「なーか」「かー連」の連綿線が気になるものです。これらの線を追って連筆したら、線は生気を失い、死線になります。用筆は「意先」です。すなわち、「な、か」の末画に入ったとき、気持ちは「か、連」の第一画へと向けられ、あとすぐ筆がスワーと入ることです。各師からこの呼吸を吸収するよう努めて下さい。
○習熟変体がな

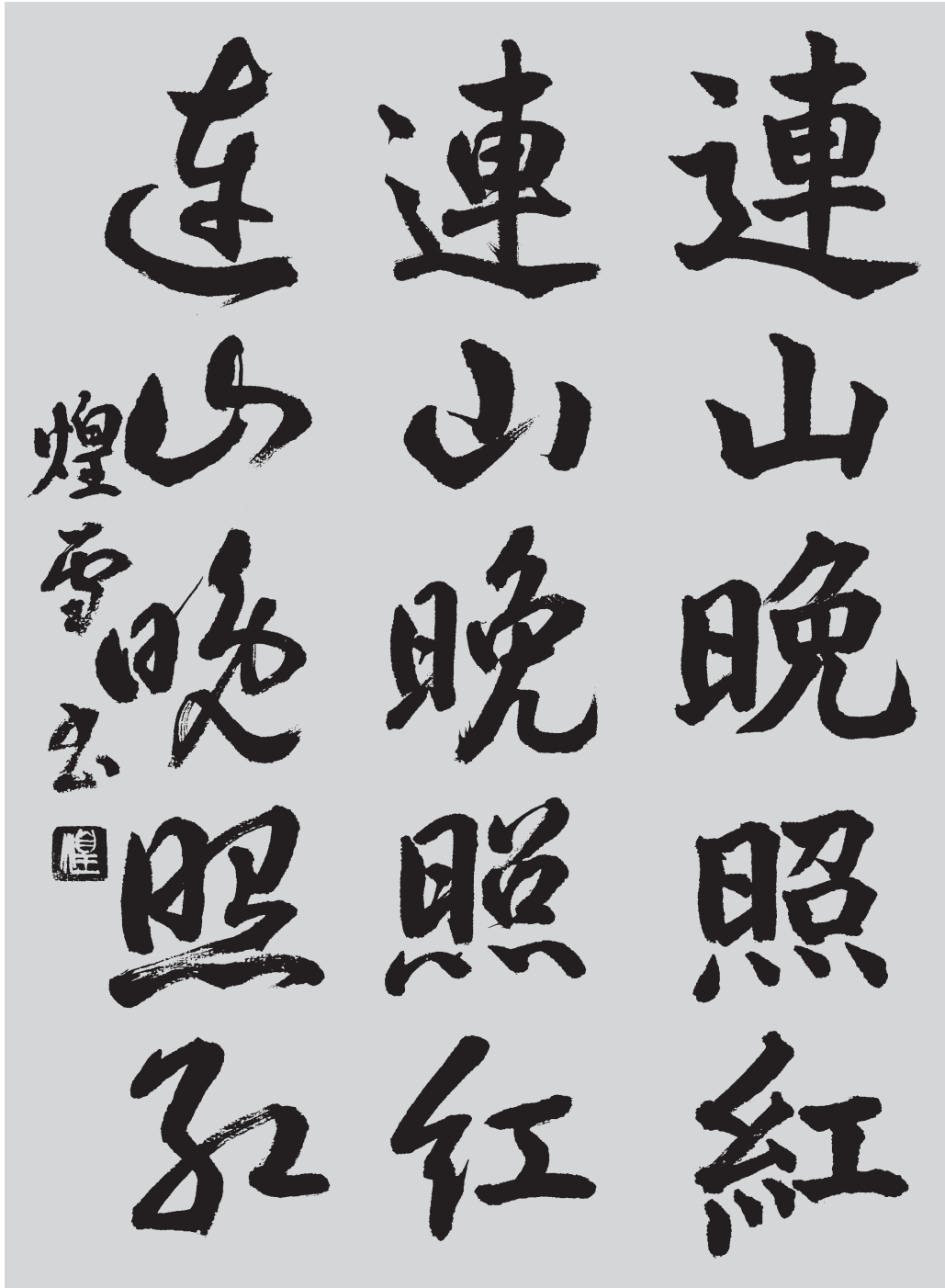
意先
な
か
連
遊
久
茂
の
三
奈
ゆる
久
あ
きの
川

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

楷、行、草、三 体 参 考

訳：秋の野山の景である。



星野煌雪先生書

連山晚照紅(杜甫)
れんざんばんしょうくわい
連山晚照紅なり。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

一字書参考



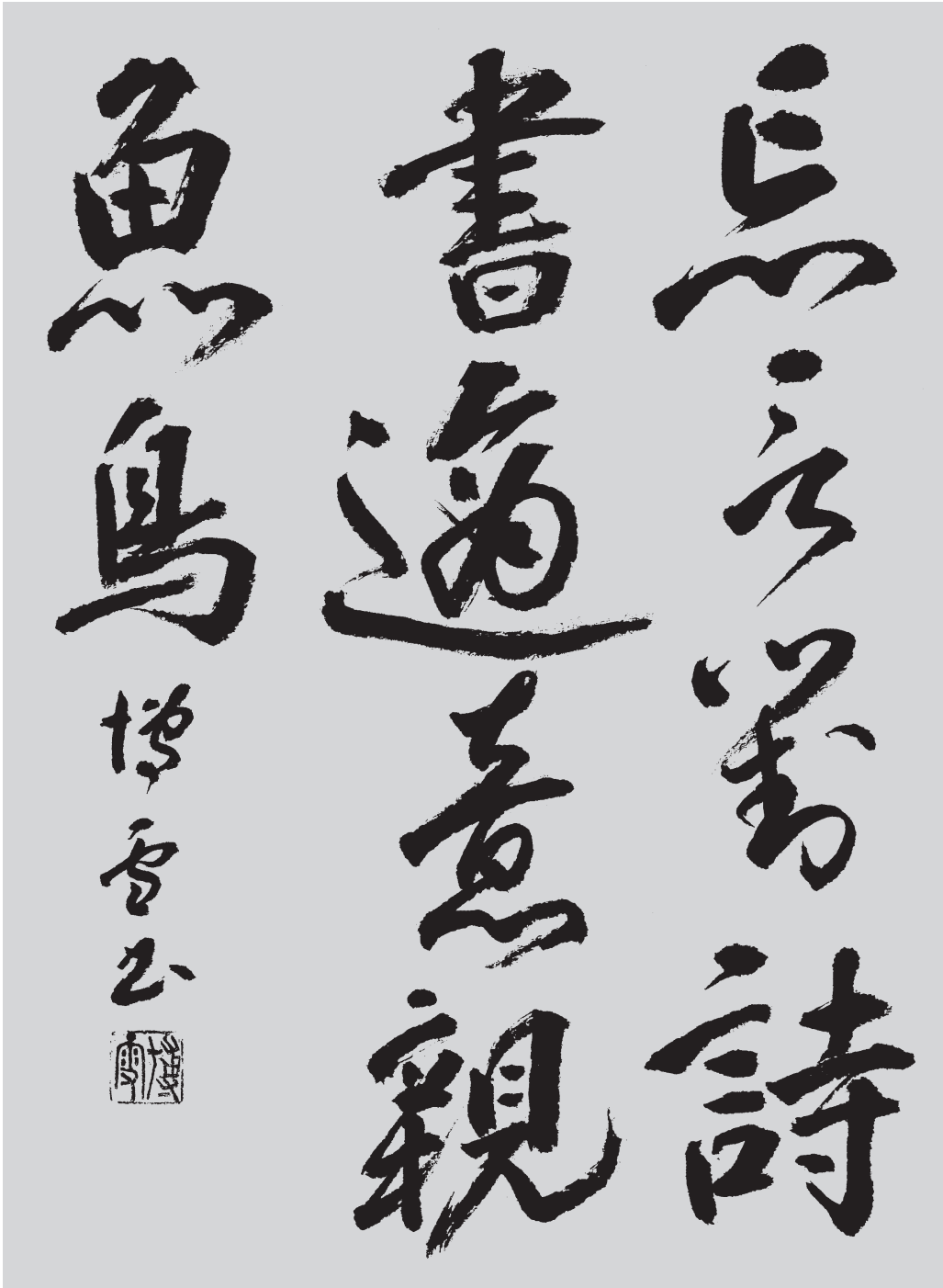
高橋香樹主幹書
凍

◆随意部参考として出品してください。

随意部参考

本田博雪先生書

忘言對詩書 適意親魚鳥（李彌遜）
言を忘れ詩書に對し、意に適し魚鳥に親しむ。



訳：心は夢中になって詩書を読み、気に合い自得しては遊泳の魚を見たり飛ぶ鳥を見てたのしむ。

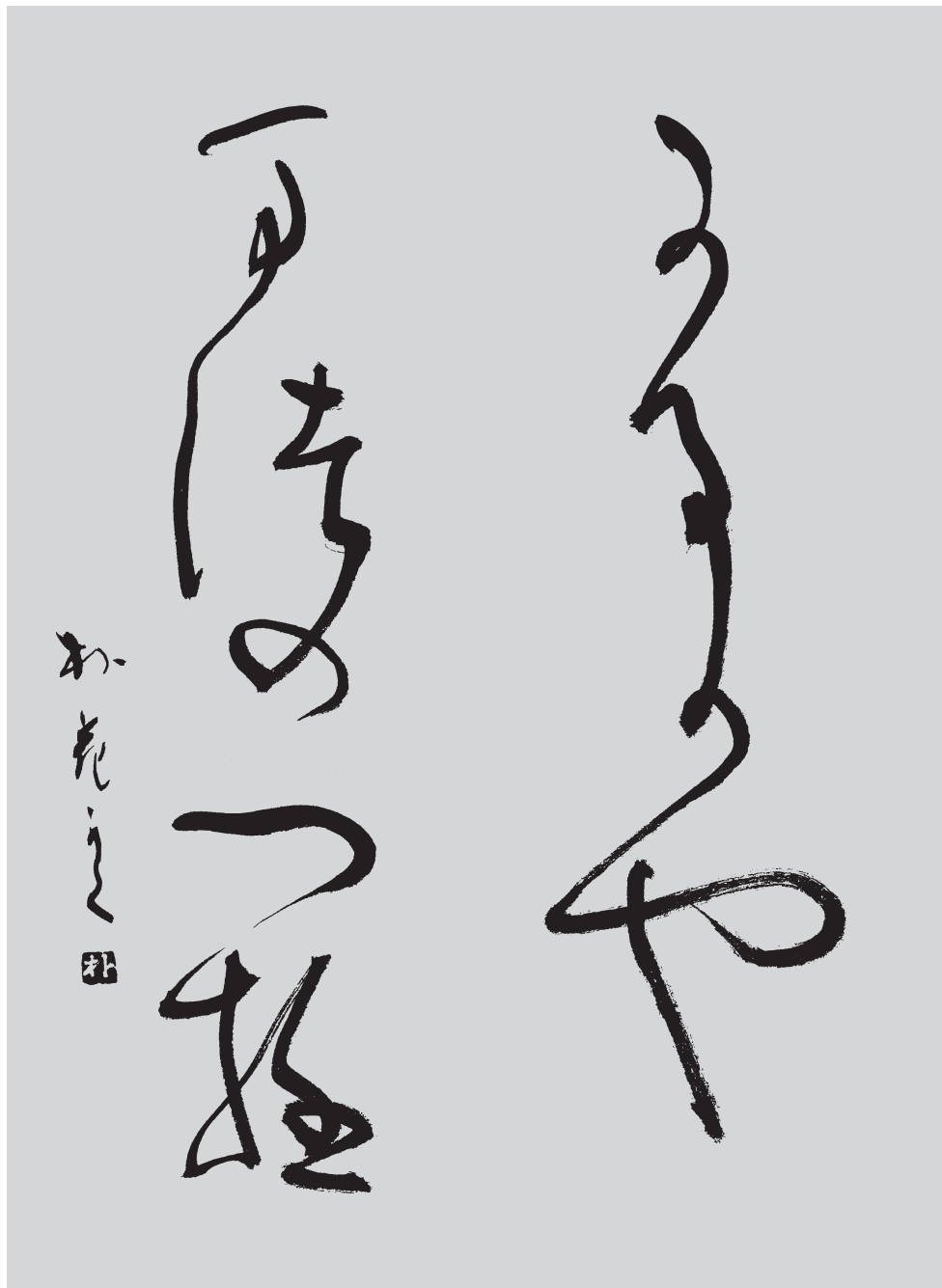
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

随 意 部 参 考

向山朴花先生書

刈萱
松の露
可る可や
万徒のつ遊
刈萱
イネ科の多年草

「可」の入筆は、突くように。右四字は、リズムカルに筆の回転を繰り返す。左行「の」から「つ」は、空中の連綿、流れを繋ぐ。「遊」転折で筆の回転を。仮名の曲線を学習する。



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

基本・基礎面の習得を考慮した随意部参考課題です。半紙に大きく書いてみましょう。

硬筆部昇試課題参考 (十一月二十二日締切)

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

言葉づかいが適切かどうかの判断は、
結局はそれまでに出あった文例の
記憶によるものです。

波もない夜の海面は鏡のよう
に、平らで、硬い水面に月は光を帯状に
連ならせ、時折ざわめく波がその光の
帯を錦繡のようにならめかせていた。

正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。審査料は九四五円

課題1 (初段階以上)

波もない夜の海面は鏡のように平らで、硬い水面に月は光を帯状に連ならせ、時折ざわめく波がその光の帯を錦繡のようにならめかせていた。

「宙ぶらん」伊集院 静

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン (黒色)
- (2) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 昇試受験料 九四五円
会員外は四二〇円加算のこと。

課題2 (初段階以下)

言葉づかいが適切かどうかの判断は、結局はそれまでに出あった文例の記憶によるものです。

「日本語練習帳」大野 晋